

令和7年度第2回三木市創生計画策定検証委員会 議事録（概要）

日 時：令和8年2月24日（火） 午後3時～午後5時

場 所：三木市役所 5階 大会議室

参加者：委員・オブザーバー計14名 及び 事務局

説明事項：(1) 令和6年度企業版ふるさと納税の実績

(2) 第2期三木市創生計画KPI実績

(3) 第3期三木市創生計画の推進について

(4) 第3期三木市創生計画の変更・修正について

概 要

- ・ 企業版ふるさと納税の令和6年度実績について、制度に基づき報告した。
- ・ 第2期三木市創生計画に係る令和6年度のKPI実績値を示すとともに、令和7年4月1日から施行した第3期三木市創生計画の取り組み内容を報告し、地方創生に係る意見を求めた。

今後について

- ・ いただいた意見も参考にしながら、現在進める各種施策を実施する。また、委員の持つ知見を直接担当課に共有するため、必要に応じて委員と担当課の意見交換の場を設ける。

主 な 意 見

分類	内容
インバウンドについて	<ul style="list-style-type: none">・ 万博で出来た導線を切らず、質の高いツーリズムにどう変えていくかが重要。・ AIなどによる働き方や子どもの教育、旅行に係る思考が変化してきており、地域の特性を掛け算した体験型の充実が鍵であると考える。
移住支援について	<ul style="list-style-type: none">・ 田舎で農業をしたいが農地が買えないことや相続の際に農地の問題などがあり、農地に関して柔軟な対応が必要と考える。

分類	内容
市の認知度向上について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商工業者の課題は人材確保である。テレビや有名人とタイアップした三木市の認知度向上が必要と考える。 ・ 金物鷲の常設展示も行って3年になる。鷲をロゴマークにしている企業とのタイアップもPRになると考える。
多文化共生について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、協力事業者やボランティア団体によって、市在住外国人のうち、人数的にどのぐらいをカバーできているか確認して欲しい。
健康増進について	<ul style="list-style-type: none"> ・ いきいき体操参加者数や健康アプリの登録者が増加していることは、評価する。
子育て支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害福祉サービス事業所の開所が概ね15、16時頃までのところが多く、高校卒業後も支援を行う家族が、支援のために会社を早退や退職する課題がある。そのような中で、東京都が高卒業後の児童が学べる場の創造に関わっている。三木市でもそのようなことが出来ると良い。
産業振興について	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライブコマース（動画のライブ配信とECを掛け合わせた販売手法）を三木市でもチャレンジしていくことで、地方のモノを全国区にしていくために、ネットを使った戦略も考えてはどうか。 ・ 起業した方々の継続性に係るリサーチや再チャレンジできる環境整備も重要と考える。 ・ 金物振興について、流通・販売の出口戦略、ブランディング、汎用性を生かした商品開発を進めるべきと考える。 ・ 県と市が意志を持った企業誘致をお願いしたい。近隣市町では、研究所が入ってきて、研究者の誘致にもつながった。

分類	内容
スタートアップ等について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生を含めた若者のスタートアップが進んでいる。実際に今ある職業に触れてみることで、学校では学べない学びが地域にある。インターナショナルスクールの誘致×地域資源であるスポーツ×アスレティクス等が出来れば良いのではないかと思う。 ・ 九州大学では高等学校教育と連携し、高校から博士を育てていく方向性が示されている。
ゴルフについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本一の名門広野ゴルフ倶楽部があり、今年は三木市レディースゴルフ大会が当倶楽部で開催される。広野ゴルフ場駅の利用による神戸電鉄の利用促進もめざし、ギャラリーの神鉄利用を広報したいと思っている。
部活動の地域クラブへの展開について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校で行うことと地域で行うことの意義は重要である。保護者の不安も多い事が想定されるため、不安解消に向けた丁寧なヒアリングが必要。 ・ 指導者確保の課題があり、シニアの力を活用いただきたい。シニアの方は時間の余裕と社会貢献への意欲を持っており、マッチングさせることも一つの手段である。
道路について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国の道路整備にかかる予算はほぼ横ばいであるが、点検・補修に係る費用は、割合が増加している。国道強靱化については、そうした老朽化対策も含まれており、注意いただきたい。
小・中学校の学力・学習状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三木市の小学生の学力テストの成績はあまりよくない。しかしながら、中学校は改善が見られる。(第2期創生計画 KPI 29番) 素晴らしいことだ。基礎学力と実践的な応用の能力の関係性があると考えられるが、詳しく分析してはどうかと考える。 ・ 学習指導要領の変更においても、余白の創出があり、余白の活用について議論がされている。

分類	内容
兵庫県の地方創生について	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生2.0から「強い経済」「豊かな生活環境」「選ばれる地方」を3本柱とした地域未来戦略に名前を変え、7月に素案が示される予定。これに合わせて、各都道府県で地域産業の成長プランを定めることとなっており、兵庫県においても、地域産業クラスターの創造、地場産業支援による地場産業成長プランの作成を進める。 ・また、観光業などにも力を入れていきたいと考えている。